

# イモリ しんぶん

発行日：2021年 10月 5日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

## アカハライモリ、卵を産む

今年(2021年)、最初に卵を産んだのは3月の下旬頃でした。一般に、アカハライモリの産卵時期は4月から7月の間のようで、本校のアカハライモリは少し時期早くに卵を産んだようです。

本校のアカハライモリは、3月の下旬から5月上旬まで卵を産んでいました。



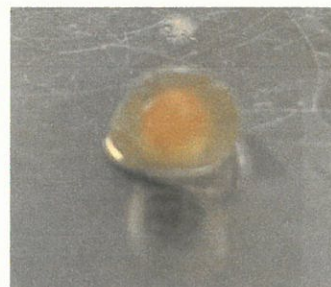
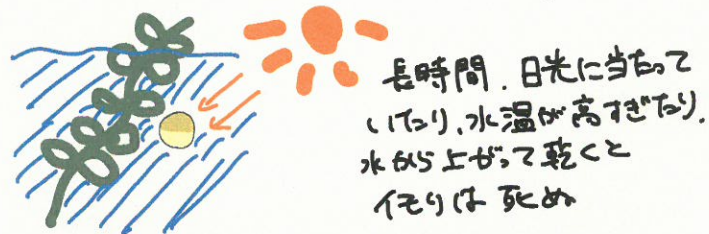
↑卵は水草に産みつけます。市販の水草では、オオカナダモが一番適していました。後肢でオオカナダモの葉を掴み、卵を産みます。しかし、この写真を撮影したときには卵を産んでくれませんでした。



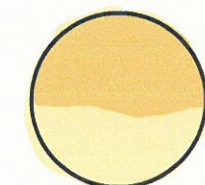
←卵は成体と分けて育てます(成体が卵をたべてしまうため)。卵はオオカナダモの葉に包まれています。

## 卵のようす

アカハライモリは一度にたくさんの卵を産むのではなく、何回かに分けて卵を産みます。本校のアカハライモリ(メス1匹)は、1ヶ月半かけて100個以上の卵を産みました。そのうち、無事に発生していたのは80個程度でした。



↑左の卵は産卵1日目のもの。卵はゼリー状の物質に包まれており、乾燥にある程度耐えられるようになっていきます。発生が進むと右のような形状になります。右のような形状になる頃には、ゼリー状の物質には無くなっており、半透明の膜に包まれるようになります。



イモリの卵

卵が3.化すまで1ヶ月近くかかる!

次回 幼生編